

# 東金市産農作物を使った「東金天門どう」の商品化・販路開拓事業

東金元気づくり株式会社(東金市) × 村井直人(東金市)



平成 30 年度

新商品  
・新役務・特産品等  
開発助成

平成 30 年度

農商工連携事業展開  
サポート事業  
販路開拓(FOODEX)

令和元年度

販路開拓助成



本来「天門冬」とは漢方薬の名称だが、江戸時代に全国に広まった柚子や生姜の砂糖漬けが千葉では天門冬の名で郷土料理として定着した。「東金天門どう」はすべて東金市産の旬の野菜や果物が味わえる新感覚のベジ・スイーツ。

## ■事業の概要

旬で採れすぎる野菜を廃棄することなく活用するため、千葉県の郷土料理「天門冬」を現代に再現したベジ・スイーツ「東金天門どう」の開発・販路拡大に取り組んだ。地域が誇る「東金ブランド」の特産品を開発することで、市内の農業・6次産業化の活性化、さらには日本・世界へ向けた東金市のPRを目指した。

## ■事業の成果

素材ごとの下処理や切り方、仕上げ、包装形態、パッケージデザインなど様々な試行錯誤を重ね、「東金天門どう」が完成した。保存料を一切使わない安心・安全な野菜のスイーツとしてPRすることにより、意識の高い富裕層や海外から多くの引き合いがあり、FOODEX JAPAN 2019 でも非常に好評であった。

次年度には、海外の顧客向けに多言語のPRを行うなど、販売促進を強化。フード・アクション・ニッポン・アワード 2019 入賞を果たすなど、販路拡大に一層期待が高まった。

## ■現状と今後の展望

地元土産品店や神社の撒下品として採用されるなど、少

しずつ「東金のお土産」として市民の認知が進んできており、なだらかではあるが売り上げは伸びている。

食味のさらなる向上や、ヴィーガン向けの開発なども日々行っており、より顧客に満足いただける『東金の逸品』となることを目指す。

## ■支援の感想

関係者一人一人それぞれの思いを一つのカタチにするために、人的・技術的にもご支援をいただきました。ご支援に感謝申し上げます。

(道の駅みのりの郷東金 駅長 今関雅喜さん)

### 東金元気づくり株式会社

|      |   |
|------|---|
| 代表者  | 代表取締役 井上一雄  |
| 住所   | 東金市田間 1300-3  |
| 電話   | 0475-53-3615  |
| 創業年  | 平成 25 年   |
| 従業員数 | 50 名  |
| 資本金  | 625 万円  |
| 事業内容 | 道の駅みのりの郷東金の運営   |
| HP   | <a href="https://togane-ippin.chiba.jp/">https://togane-ippin.chiba.jp/</a> |

村井直人

住所 東金市